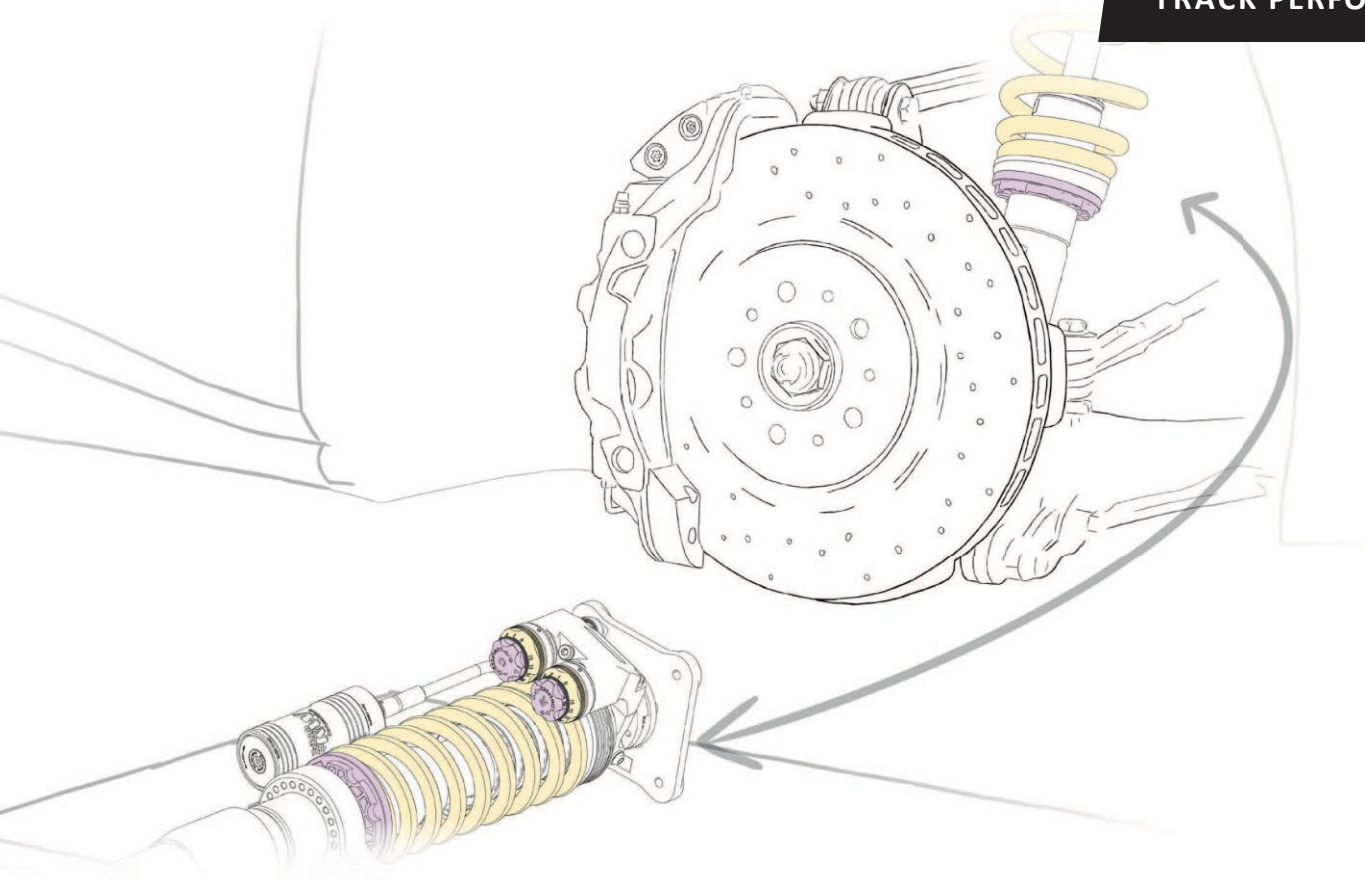




取付説明書

取り付けを開始する前に、よくお読みください。

- ・ 製品が車両の仕様などと適合が一致していることをご確認ください。
- ・ この説明書の指示を厳守して取り付けを行ってください。

この説明書で特に規定がない箇所に関しては、すべて純正のスプリングやダンパーの取り付け取り外しに関する自動車メーカーの仕様に従って、取り付けおよび取り外しを行ってください。



危険:

重大な障害や傷害を防ぐために、各手順で常に最新の事故防止規制に従ってください。

1. サスペンションを取り付ける際は、車両リフトの使用をお勧めします。リフトが利用できず、ジャッキを使用する場合は、安全を確保するために、市販のホイールブロックとジャッキスタンドで車両を固定してください。
2. サスペンション取り付けは、適切なツールを使用する訓練を受けた技術者のみ行ってください。
3. 取り付けを試みる前に、一般的な取り付け手順と技術検査文書を必ずお読みください。
4. ショックアブソーバーの取り付けまたは取り外しに、インパクトレンチを使用しないでください。
5. ショックアブソーバーを分解したり、切り開いたりしないでください。圧力のかかったオイルが含まれていますので、爆発の危険があります。
6. 取り付け後、公道を運転する前に、7 ページの項目 11 ~ 14 の作業手順を実行してください。
7. サスペンション交換によって発生した制御のエラーは、正規ディーラーを通じてリセットや調整などする必要があります。
8. 車両側の取り付け部品（たとえば、ショックアブソーバーの取り付け部や、コントロールアームの取り付け部など）にほこりや油が付着していないことを確認してください。（メーカーのガイドラインを参照）

主な使用方法:

1. 車高を調整するときは、ねじ山がきれいでありゴミがないことを確認してください。まずはスプリングシートの下側を掃除後、10mm 程度下に動かして、調整する範囲の(上または下)を清掃します。
2. ショックとスプリングが別々のシステムで車高を調整するときは、スプリングシートを車両から取り外して調整します。
3. 車高を調整した後、7 ページの手順 11 から 14 を繰り返します。
4. ダンパーのピストンロッドとシーリングの部分に、オイルとグリスが溜まっている場合があります。これは組み立て時のグリスかオイルが蓄積したために発生した可能性があります。カートリッジとロッドガイドの組み立て時にもオイルが使用されます。その為、不具合を心配する必要はありません。

ピストンロッドナットの締め付けトルク:

M8 = 25Nm (18 ft-lb), M10x1 = 20Nm (15 ft-lb), M10x1,25 = 20Nm (15 ft-lb), M12x1,25 = 35Nm (26 ft-lb), M12x1,5 = 40Nm (29 ft-lb), M14x1,5 = 50Nm (37 ft-lb), M16x1,5 = 50Nm (37 ft-lb)

Copyright

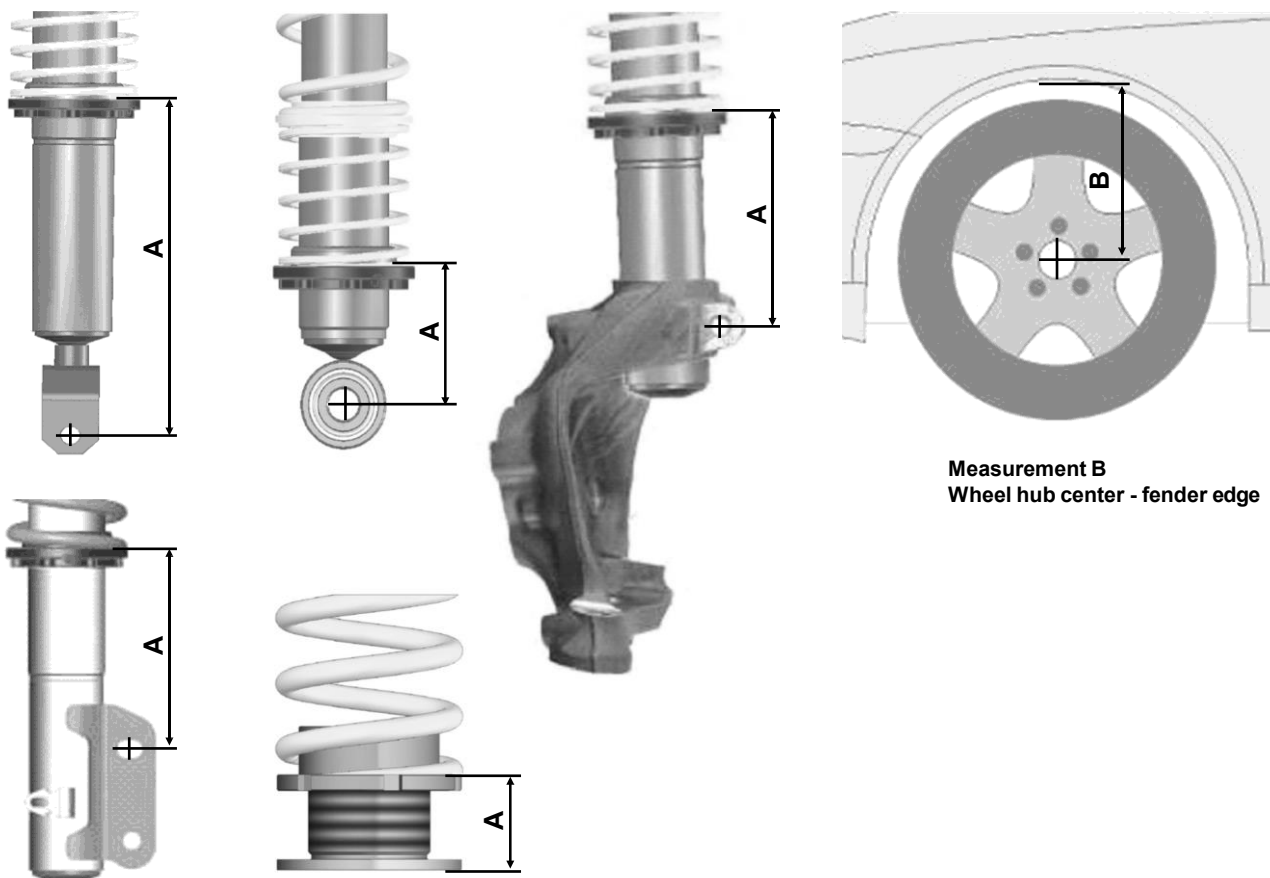
This assembly guideline is protected by copyright law. This assembly guideline is subject to a right to download and print the guideline which we grant for the purpose of the installation of products that have been purchased from us. Further reproduction is not allowed. Any devolution or sub-licensing of this copyright to a third party as well as any manipulation of the photographs is not allowed. We are entitled to cancel the granted copyright at any time. Copyright violations will be prosecuted.

主な取付方法:

1. サスペンションを取り付ける際は、リフトの使用をお勧めします。
2. 注意: 車両に車高センサーが装備されている場合は、ストラットまたはダンパーを取り外す前にセンサーを取り外す必要があります。不具合が発生する可能性があります。
3. 自動車メーカーの指示に従って取り外す必要があります。
4. 自動車メーカーの工場に取り付けられたサスペンションを取り外すには、ほとんどの場合メーカーが推奨する取り外し用ツール、または適切なスプリングコンプレッサーを使用する必要があります。
5. 次のページの説明に従って、新しいサスペンションを取り付けます。
6. 損傷が発生する可能性があるため、ピストンロッドにナットを取り付ける際にインパクトレンチを使用しないでください。ペンチなどを使用してピストン ロッドの表面を傷つけないようにしてください。わずかな損傷でもシールが損傷します。その場合、保証の対象外になります。
7. 3 ページの表に指定されている下げ幅の範囲内にとどめてください。例: 指定範囲が 20 ~ 60 mm の場合、高さ調整範囲は 40 mm です。
8. スプリングシートが動かないように、ロックネジが締められていることを確認します。ショックとスプリングの組み合わせが別々になっている車両では、ロックネジはありません。注意: ロックネジを締めすぎないでください。最大トルクは 1 ~ 2 Nm です。
9. 自動車メーカーのドキュメントで指定されているとおりに、サスペンションを車両に取り付けます。
10. 特に記載がない限り、すべてのトルク値はメーカー推奨に準ずる必要があります。
11. 取り付けが完了したら、車両を平らな地面に置きます。平らな地面に置いたら、車高を測定し、規定の下げ幅内でお客様の要件に合わせて調整します。注意: 3 ページの表にあるホイールハブセンターからフェンダーエッジの最大測定値を超えないようにしてください。また、7 ページの表に指定されている最低地上高も考慮してください (ドイツのみ有効なルール)。注意: しばらく走って馴染むと、さらに 5 - 10 mm 落ち着くのが一般的です。
12. タイヤホイールの全可動範囲にわたって、タイヤとサスペンションのクリアランスを確認します。サスペンションとタイヤの最小クリアランスは 4 mm です。このクリアランスが 5 mm 未満の場合は、ホイールスペーサーが必要になることがあります。タイヤとボディのクリアランスも確認します。注意: 実際にテスト走行を行い、ボディ、その他パーツとのクリアランスが 5mm 以上である必要があります。
13. サスペンションのジオメトリーは、自動車メーカーの規制に従って調整する必要があります。車高の違いにより基準値に到達できない場合は、自動車メーカーの許容範囲に近い最適値に調整する必要があります。
14. 車高によって制御されるもの (ヘッドライト、ブレーキ バイアス レギュレーターなど) は、自動車メーカーの指示と手順に従って調整する必要があります。
15. ESP、DSC、または EPC を備えた車両の場合、新しいサスペンションによってエラーコードなどが表示される場合があります。これは一時的なもので、車両の電子機器が新しい車高に調整されます。一部のモデルでは、約 5 ~ 8 キロ走行するか、ステアリング ホイールを左から右に完全に回すと、この状態が解消されます。またその他のモデルでは、資格のある技術者が診断機からリセットをする必要がある場合があります。

テクニカルデータ	Coilover part number 352 85 819			
Vehicle model	Nissan Z type RZ34		max. permissible front axle load: - kg	
	front axle		rear axle	
Spring signature	10-60-80 / 140-200*		10-60-80 / 100-220*	
Coilover strut / Shock absorber signature	852 1012		862 1101	
A の距離を確認してください。	min:	max:	min:	max:
Front: ボルトセンターからスプリングシート上	270 mm	285 mm	19 mm	42 mm
Rear: アジャスターの底からスプリングシート上				
B の距離を確認してください。	min:		min:	
ホイールハブセンターからフェンダーエッジ	350 mm		365 mm	

Calculating the adjustment range (distance measurement A) : (Photos are examples only)



Please enter the adjusted height of the modified car into the list:

Coilover part no	Vehicle type	Measurement A		Wheel hub center - fender edge Measurement B	
		Front	Rear	Front	Rear

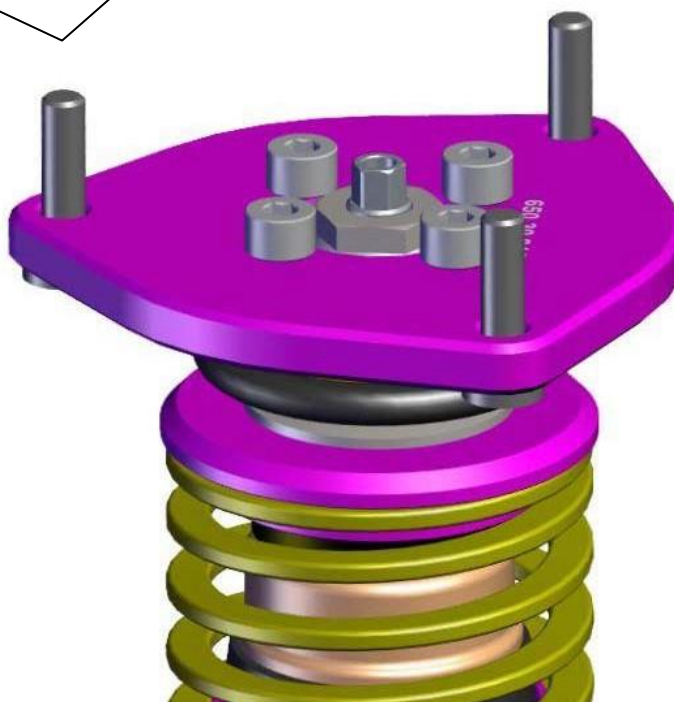
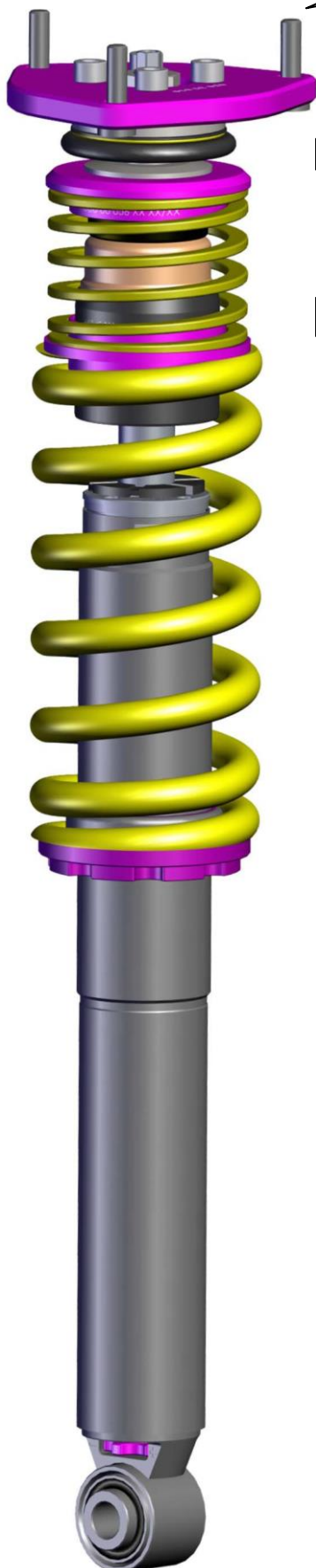
* **IMPORTANT:** The allowable measurement between wheel hub center and fender edge as indicated above, may not exceed these measurements when using standard fenders.

Front axle:

Supplied Coilover Assembly.

装着方法や締め付けトルクについては、自動車メーカー推奨の設定で取付して下さい。

トップマウントのナットの締め付けトルク 25 Nm



Rear axle:

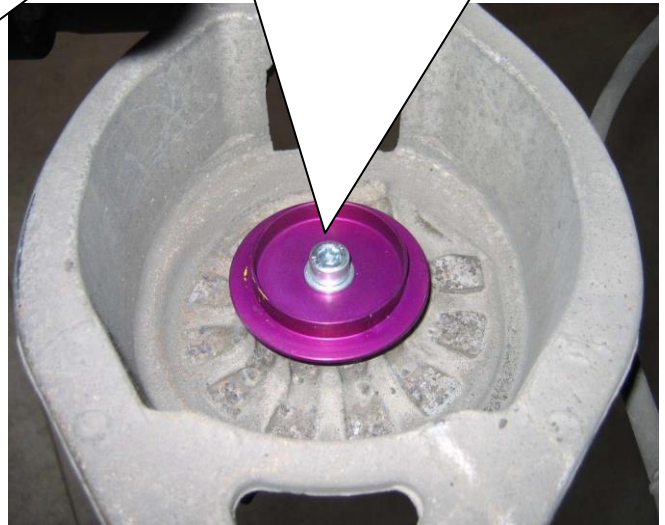
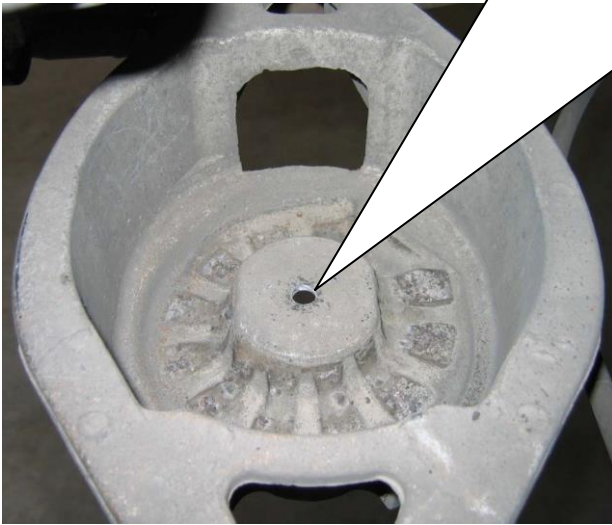
Supplied rear axle damper.

純正トップマウントを、純正ワッシャーを使用して付属のナットで取り付けます。
ピストンロッドナットの締め付けトルクは20Nmです。
その他の装着方法や締め付けトルクについては、自動車メーカー推奨の設定で取付して下さい。



Rear axle:

純正のスプリングサポートを外して、付属のスプリングサポートをロアアームに取り付けします。
※約11mmの穴開け加工が必要です。
スプリングサポートを付属のボルト、ワッシャー、ナットで固定します。締め付けトルクは50 Nmです。



純正のスプリングサポートを取り外して、スプリングとシャシーの間にアジャスターを入れます。
取り付け後に車高調整をする際は、取り外して行う必要があります。

100-220*

10-60-80

